

事例の概要

北野 五郎 様

記入者 相談支援事業所A 相談支援専門員 難波 花子

| | |
|-----------------|--|
| 事例タイトル | 病院退院後地域生活を始めていくケース |
| 相談経過の要約 | <p>特別支援学校卒業後、小さなクリーニング工場に就職する。複雑な工程の作業は難しい様子もあったが、持ち前の明るく人懐こい性格で工場の社長や社員達にもかわいがられており、就労においては特に問題はなかった。</p> <p>母親はどちらかといえば放任的であったが、本人に対して関心が無いわけではない状況。しばらくして父親が仕事場で倒れ急逝したことを機に生活状況が一変していった。</p> <p>景気の低迷により就労先のクリーニング工場が倒産する。</p> <p>職を失ったことにより、本人は自宅にこもり何もせず過ごす様になっていった。生活のリズムも乱れ、精神状態が悪化したことによりS病院(精神科)へ入院することとなった。</p> <p>父親の死後、母が本人の身の回りの世話を一手に担っていたが自宅で倒れ、M病院(総合病院)に入院した。検査の結果、末期癌であることが判った。</p> <p>その後、6ヶ月ほど経過し、本人の状態も安定し「病院を退院して自宅に帰りたい」という要望があがってきた。しかしながら、母は末期癌の為、回復の見込みは無く、自宅での生活を再開することが困難である。これまでは家族、勤務先の援助があったことから自宅での生活を送ることが出来ていたが、本人の退院後すぐに自宅で生活することが難しい状況であった。</p> <p>S病院ケースワーカーよりS市福祉課へ障害福祉サービスの利用を相談したことをきっかけに相談支援事業所Aの相談支援専門員より退院に向けた支援を開始する。</p> <p>本人への日常的な声かけ、見守りをする必要があることからグループホーム(共同生活援助)、就労継続支援B型事業所の利用を検討していくこととなった。</p> |
| 年齢・性別・家族構成・家族状況 | <p>年齢(30代)・性別(男) M県S市で出生 一人っ子</p> <p>家族構成 父は10ヶ月前に死去。</p> <p>父の死後、母は本人の世話を一手に担っていたことの負担もあり、自宅で倒れ、現在総合病院に入院中。回復の見込みは無い。</p> |
| 手帳・区分 | <p>療育手帳 B2(軽度)</p> <p>精神障害者保健福祉手帳 2級</p> <p>障害支援区分2</p> |
| 生活歴 | <p>M県S市にて出生、父親は建設業に従事しながら中規模で農業を行う比較的裕福な家庭で育つ。</p> <p>幼少時より発達の遅れを指摘されていたことから生来知的障害はあった様子。</p> <p>小学校年はS市の地元小学校普通学級に通い、その後M県立の養護学校(現:特別支援学校)へ通い、高等部3年まで通った。</p> <p>本人は特別支援学校在学中も明るく人懐こい性格で同級生からも慕われていた様子であったとのこと。ただし、高等部1年生頃より嫌なことがあったり、一度に大きなお金が手に入った時に放浪することが年に2~3回あり、県外にて無銭飲食や無賃乗車などで保護されることがあった(母から小遣いをもらったりして手元に大きな額のお金がある時)。</p> <p>高等部卒業と同時に在学中の実習先であったクリーニング工場に就職、卒業後も年に1~2回程度県外に2日~3日出かけてしまうこともあったが、就労先の理解もあり就労は継続している。</p> |
| 経済状況 | <p>障害基礎年金2級。これまで家族が全て金銭の管理を行っていた。</p> <p>母の入院後は急遽伯父が本人の金銭を預かることになったが、今後の管理を何とかしてほしいと思っている。</p> <p>貯金 ¥ 500,000 就労時 月収 ¥ 70,000円程度(現在は勤労収入無し)</p> |
| 相談に至る経緯 | <p>本人より「退院したい。いずれはまた自宅で生活したい」という要望があがる。S病院ケースワーカーよりS市福祉課への相談を経て、相談支援事業所Aより退院に向けた支援を開始することとなった。</p> |
| 望んでいる暮らし | <p>安心して生活したい。お金が欲しい。働きたい。タバコを今まで通り吸いたい。自由に遊びに行きたい。</p> |
| 本人の状況と最近の様子 | <p>退院後、周囲からの援助を受け、福祉サービスを利用しながら自宅での生活することも検討したが、経験の乏しさ、これまでの自由奔放さもあることから、日常的な声かけ、見守りのある環境で生活しながら経験を積み重ねることが必要と思われる。</p> <p>生活費については家族が金銭を管理していた為、500,000円程貯金があり、当面の生活費は確保されている。</p> <p>現在グループホーム、就労継続支援B型事業所の体験利用を行っており、慣れない環境下での暮らしに戸惑いと緊張を感じられている様子。</p> <p>体験利用を重ねることで少しずつ周囲の人たちにも慣れてきている様子が見られるようになった。最近ではグループホームの利用者とも持ち前の明るい性格で打ち解けている様子も見られ「今後もここで暮らしたい」という発言もあったとのこと。</p> <p>日中は就労継続支援B型の体験利用を行っている。特別支援学校の同級生がいたためいろいろなことを聞きながら仕事を進めている様子が見られ、他の利用者ともトラブルなども無く、ハンディの重い方の手助けをしている様子も見受けられるとのこと。</p> <p>体験利用扱いなのでお給料がない、生活するお金が必要と事業所のスタッフに話をしているとのこと。</p> |
| その他 | |

アセスメント票

記録: 相談支援事業所A 相談支援専門員 難波 花子

| | |
|---------|--|
| 氏名等 | 北野 五郎 男性 知的障害 統合失調症 |
| 心身の状況 | 身長165cm 体重55Kg 16歳頃に統合失調症を発症し、病歴、治療歴共に長い。 長期間の治療により症状は安定している。 常時服薬が必要であるが、服薬が継続されていれば比較的健康的である。 身体能力は特に問題無い。 |
| 精神面の状況 | 軽度の知的障害はあるが、明るい性格でありコミュニケーション能力は高く、情緒的にも安定していて声を荒げたりすることもあまりない。込み入った話、難しい表現でなければ理解力も十分にある。 自分に都合の悪いことがあると黙り込む状態が続くこともあり、ストレスをためると県外まで出かけてしまったりすることもある。また、同様にお祭りなどのイベントになると時間を忘れてしまうことがあったり、母からお盆・お正月など特別な時期に1~2万円程度のお小遣いをもらった時は気持ちが大きくなるのか県外に2日~3日出かけてしまうこともある。 じっとしていることが苦手な様子もあり、長距離を歩くことも苦にならない。10Km ぐらいは普通に徒歩で移動することもある。 電車、バス、船など乗り物がなんでも好きで、時間があると料金均一の市内循環バスに乗り、市内を回って大型スーパーの店内を歩き回ることを楽しみとしている。一日中バスに乗っていることもある。 |
| 生活の自立度 | 一通りの社会生活はできる程度に自立しているが全てに於いて無頓着なことが多い。 衛生面では衣類の着脱衣、入浴、洗濯、洗顔、歯磨き、髭剃りなどは特に無頓着である。これまでは家族、職場からの援助により生活を続けることができていた。 B事業所(グループホーム)体験利用中に女性利用者から「臭う」といわれることがあり、嫌われるのではないかと気にしている様子も見られる。また、同時に体験利用をしているC事業所(就労継続支援B型)でも店舗販売の接客の仕事や公共施設の清掃作業業務などもあり、多くの人に見られることもあって度々注意を受け、身だしなみについて少し気にするようになりつつある。「C事業所のMさんみたいにかっこよくなりたい」と最近話している。 清掃、洗濯などについてもほとんどしないが、他の利用者が全て自分でやっているのを見て、ここB事業所(グループホーム)で生活をしていくなら自分もしなければならぬと世話人や他の利用者に話していた。(できないわけではないが汚れていても、片付いていなくても気にならない様子。これまでは母親が全て声かけをした) 喫煙習慣がある為、タバコが無くなると拾いタバコをすることがある。悪いこととは分かっているが、お金が無くなり空腹になると無銭飲食、万引きをすることがあり、放浪するときは無賃乗車などを行うことがある。 金銭管理は難しく、お金を持つとほとんど全てを使ってしまいう傾向があり、5,000円程度のお金があると片道で行けるところまで行ってしまいうことがこれまでに何度もあった。 |
| 気持ちの自立度 | 誰かに依存するということはないが、これまで母親からの援助を受けて生活していた為、自立という概念があまりない。ただ、現状の生活については自分で何とかしなければならないと考えている様子はある。 |
| 経済状況 | 障害基礎年金2級を受給。これまで家族が全て金銭の管理を行っていた。 貯金 ¥500,000 就労時 月収 ¥70,000円程度(現在は勤労収入無し) 母の入院後は急遽伯父が本人の金銭を預かることになったが、今後の管理を何とかしてほしいと思っている。 |
| 趣味 | 町中を歩き回ること、乗り物に乗ること自体がとても好きである。旅行に行きたいという気持ちもある。 イベント事、お祭りが好きで近隣で開催されると必ず行っている。 タバコを吸うことが好きである。 |
| キーパーソン | S病院ケースワーカー 相談支援事業所A 相談支援専門員 |
| 家族 | 父は他界している。他の親戚とは全く関わりが無い。 母はM病院(総合病院)に入院中であり、回復の見込みが無い。 |
| 地域状況 | グループホームのあるS市は人口約20万人で、産業は自動車産業と水産加工業。大きな総合病院もあり、 障害者の社会資源も、複数の法人があり全ての障害福祉サービスが受けられる環境は整っている。 地域性は、長年生活をしている住民がほとんどであり、横のつながりが強い地域性である。障害者への理解はある程度はあるが、横のつながりが強い分、何か問題があった時にも、すぐに近隣に情報が回ってしまう事がある。 |

アセスメントシート

氏名 北野 五郎

記入 グループホーム サービス管理責任者 田村 繁光

| 項目 | | 介助の必要性 | 程度 | 項目 | | 介助の必要性 | 程度 |
|---|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 起居動作 | 起き上がり | <input type="checkbox"/> 有 | | 衛生保持 | 手洗い | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | しないことが多いが声をかけると行える。 |
| | 寝返り | <input type="checkbox"/> 有 | | | 爪切り | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 爪切りを使うことが難しい。介助が必要。 |
| 姿勢保持 | 座位 | <input type="checkbox"/> 有 | | | 耳掃除 | <input type="checkbox"/> 有 | こだわりがあるのか綺麗にしている。 |
| | 立位 | <input type="checkbox"/> 有 | | | 月経 | <input type="checkbox"/> 有 | 該当無し。 |
| 移動 | 屋内 | <input type="checkbox"/> 有 | | 排泄行為 | 排尿 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | 屋外(徒歩) | <input type="checkbox"/> 有 | | | 排便 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| 衣類着脱 | 着脱行為 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 衣類の裾や襟などについては無頓着なことが多いので声かけが必要。 | 食事全般 | 飲食行為 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | 服装の選択 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 寒暖にあわせたものの選択はできるがTPOに合わせた選択は難しい。 | | 食事状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 歯の状況から肉などは一口大に切る必要あり。 |
| 整容行為 | 歯磨き | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 既に多くの歯を失っている。歯磨きをしないことも多い。言葉がけでできるが、磨き残し多く確認・介助が必要。 | 調理全般 | 調理 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | カップラーメンを作る程度。 |
| | 洗顔 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 声をかけないと洗わないことが多い。声をかけると洗うが細かい所は洗えていない。確認・介助が必要。 | | 安全確認 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | お湯を沸かすことはできる |
| | 整髪 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | ほとんど気にしないが、声をかけると鏡の前に行き整えようとするが介助が必要。無頓着なことが多い。 | 入浴全般 | 入浴の準備と片付け | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | ひげ剃り | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無頓着であり、声をかけると剃るが剃り残し多く、確認・介助が必要。 | | 入浴 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 洗体、洗髪共に確認が必要、シャワーで流すことはできる。無頓着な為、面倒と感じている。 |
| | 化粧 | <input type="checkbox"/> 有 | 該当無し。 | 家事全般 | 洗濯 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 洗剤を入れずに洗うなどの行動あり。 |
| 特記事項 生活全般に於いて経験が不足していることと、これまでの生活習慣からか整容などにほぼ無頓着なことが多く、気にしていないことが多いが、声をかければ気にすることはできる様子。経験を積んでいけばできることはかなり多いと思われる。 | | | 洗濯物干し | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | かなり適当に干してしまう。 | |
| | | | 掃除 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | ほぼ無頓着。菓子の空き袋、タバコの灰、コーヒーなどのこぼした後などはそのまま。ほとんどしてこなかった。 | |
| | | | 衣類整理 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 本人なりのルールでタンスに詰め込んでいる | |
| | | | 所持品整理 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 部屋中の所持品は散乱している。 | | |
| コミュニケーション | 困ったときに相談しているところ S病院ケースワーカー、相談支援事業所Aの相談支援専門員に困ったことや悩みを相談している様子。本人との話の中においてもかなり信頼している様子がうかがえた。 | | | | | | |
| 社会参加・移動 | 意思の表現方法 言葉でのコミュニケーションが可能、自分の都合の悪いことはごまかしたり隠し通そうとするか、黙り込んでしまう。 | | | | | | |
| | 好きなこと 乗り物に乗ること テレビで漫才や吉本新喜劇を見たりすること等楽しいこと。タバコを吸うこと。 嫌いなこと うるさく言われること。けんか。 移動の手段 徒歩。交通機関などは一通り利用することができる。 お金の理解 計画的なお金の使い方は難しい。 | | | | | | |

アセスメントシート

氏名 北野 五郎

記入 グループホーム サービス管理責任者 田村 繁光

| | | | | |
|----------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|----------|
| 家庭生活 | どこでだれと暮らしているか？ S病院(精神科)入院中。 家族の状況 父は10ヶ月前に他界。母はM病院(総合病院)に入院中で回復の見込みはない。 | | | |
| 経済状況 | 主な生活財源 ・就労による収入 なし ・預貯金 約 ¥500,000 程度 ・障害基礎年金2級 約 ¥130,000/2ヶ月 | | | |
| 行動面 | 項目 | 介助の必要性 | 程度 | |
| | 行動面での障害1 | こだわり行動 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 徘徊 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 無断外出 無断外泊 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 特記事項に記入。 |
| | | 錯覚・幻視・幻聴 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 被害妄想 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 自殺願望・企画 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 不潔行為 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 異食行為 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 収集癖 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 物忘れ | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | 反社会的行為 (盗癖、虚言など) | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 特記事項に記入。 | |
| | 行動面での障害2 | 自傷行為 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 他者に対する 粗暴行為 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| | | 器物に対する 粗暴行為 | <input type="checkbox"/> 有 | |
| 奇声や騒がしさ | | <input type="checkbox"/> 有 | | |
| パニック | | <input type="checkbox"/> 有 | | |
| 多動・行動の停止 | | <input type="checkbox"/> 有 | | |
| 思考障害 | | <input type="checkbox"/> 有 | | |
| 感情・思考の障害 | 感情不安定 | <input type="checkbox"/> 有 | | |
| | 過大・過小評価 | <input type="checkbox"/> 有 | | |

特記事項

- 自由に生活していたことから時間などに縛られることを嫌う傾向が強く、ストレスがたまったり、嫌なことが続いたりするとフラツといなくなることがこれまでもあったとのこと。
- お金の管理についても現金を持てばすぐにコンビニ、スーパーでタバコ、コーヒー、菓子パン、菓子類などを購入してしまい、無くなるまで使ってしまう。
- 多額の現金(1~2万円)を持つと電車に乗り、県外に行ってしまう、帰るお金が無くなるとタクシーを使って戻り、警察に突き出されたり、無賃乗車で戻ってこようとして捕まったりすることもある。また、そういった際に無銭飲食、万引きなどで捕まることもあった。
- どこかへ行ったままということはなく、長くても3日程度で家には戻ってきていた。または、戻ってこようとしていたとのこと。

《その他》

サービス等利用計画

| | | | | | |
|---------------|------------|----------|-----|----------|----------|
| 利用者氏名 | 北野 五郎 | 障害程度区分 | 区分2 | 相談支援事業者名 | 相談支援事業所A |
| 障害福祉サービス受給者番号 | 1231231231 | 利用者負担上限額 | 0 | 計画作成担当者 | 難波 花子 |
| 地域相談支援受給者証番号 | | 通所受給者証番号 | | | |

| | | | | | |
|--------|------------|----------------|--------|----------|--|
| 計画案作成日 | 令和2年11月15日 | モニタリング期間(開始年月) | 令和3年5月 | 利用者同意署名欄 | |
|--------|------------|----------------|--------|----------|--|

| | |
|----------------------------|--|
| 利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活) | <ul style="list-style-type: none"> ・今は不安だけど将来的には自宅で生活したい。 ・できる仕事でお金をたくさん稼ぎたい。 ・お金ができれば遊びに行きたい。電車やバスに乗って遠くに行っておいしいものを食べたい。 |
| 総合的な援助の方針 | 将来の目標である自宅での生活を実現するために、本人が希望する社会体験を多く取り入れ自信や意欲を高め、希望の持てる生活を築いていきます。 |
| 長期目標 | 生活で苦手なことは手伝ってもらいながら、自分でできることを増やしていきます。 |
| 短期目標 | お金を計画的に使う練習をしながら、しっかり管理できるようにします。また、洗濯や掃除等の家事が自分でできるようにしていきます。 |

| 優先順位 | 解決すべき課題(本人のニーズ) | 支援目標 | 達成時期 | 福祉サービス等 | | 課題解決のための本人の役割 | 評価時期 | その他留意事項 |
|------|---------------------------|--|------|---|--|---|------|---------|
| | | | | 種類・内容・量(頻度・時間) | 提供事業者名(担当者名・電話) | | | |
| 1 | 将来的には自宅で生活したい。 | グループホームの利用を続けながら、今後の生活に必要な準備をしていきます。困った時や不安な時に相談ができるようにします。 | 常時 | <ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助 ・特定相談支援事業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・B事業所(GH)(サビ管●●・TEL) ・特定相談支援事業 | 困った時や不安な時は相談支援専門員に相談します。 | 6ヶ月後 | |
| 2 | みんなのように、掃除や洗濯ができるようになりたい。 | 掃除や洗濯を自発的に行えるようスケジュール作りをします。 | 6ヶ月後 | <ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助 | <ul style="list-style-type: none"> ・B事業所(GH)(サビ管●●・TEL) | 分からないことはグループホームの世話人、生活支援員に聞いて取り組みます。 | 6ヶ月後 | |
| 3 | 生活するお金が必要なので働きたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの達成感、喜びを感じられるようになります。 ・一般就労へのステップになるような支援を目指します。 | 6ヶ月後 | <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型 週5日 月～金 9時～14時 | <ul style="list-style-type: none"> ・D事業所(就B)(サビ管●●・TEL) | 平日は毎日行き、責任を持って決められた仕事をします。 | 6ヶ月後 | |
| 4 | 自由に遊びに行きたい。 | 毎週末遊びに行けるように、グループホームでお金を上手に使う練習をします。 | 6ヶ月後 | <ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助 ・移動支援 16h/月 | <ul style="list-style-type: none"> ・B事業所(GH)(サビ管●●・TEL) ・E事業所(移動支援)(サビ提●●・TEL) | 1ヶ月分の収入をどう使ったらよいか、グループホームの人と一緒に考えてやってみます。 | 6ヶ月後 | |
| 5 | 年金や貯金を管理して欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な面での支援を組み立てる。 ・障害年金 ・預貯金 | 順次 | <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護事業所 | <ul style="list-style-type: none"> 権利擁護事業所(●●・TEL) | 権利擁護事業所に年金や預貯金の管理をお願いして、使い方を一緒に考えます。 | 6ヶ月後 | |